鴻巣市立鴻巣北小学校　学校だより２月号　令和４年１月３１日　No.１０

いちょうっ子

～地域に愛され、地域とともに歩んで５０年！～

＜学校教育目標＞　児童数４００名
〔強　く〕自信をもち、心身ともに鍛える子
〔正しく〕深く考え、進んで学ぶ子
〔美しく〕明るく、思いやりのある子



素敵な言葉に思いをプラスする

校長　上岡　勝

「校長先生なら絶対に達成できますよ！」「応援しているので頑張ってください！」・・・２週間前の昼休み、二重とびの練習をしていた私に、２年生の女の子たちがこんな素敵な言葉をかけてくれました。３学期は、二重とびを１００回跳べるようになることを目標に、毎日子どもたちと一緒に練習をしているのですが、なかなか回数が上がらず、心が折れていました。そのような時、２年生の女の子たちにかけてもらった言葉に、私はとても励まされ、元気づけられ、再び挑戦意欲が湧きました。今では、その言葉を思い出しながら、前向きな気持ちで二重とびに挑戦しています。

言葉というものは、本当に不思議なものです。何気ないほんの一言が相手を明るい気持ちにさせたり、勇気づけたり、安心させたりするのです。また「恩師の一言が将来の自分の人生を変えた！」など、人の人生を左右することも。一方、言葉は人の心を深く傷つけたり、不快な気持ちにさせたりするなど、トラブルの原因になることもあります。良くも悪くも言葉が人に与える影響はとても大きいものです。だからこそ、子どもたちの教育に携わる教師や親は、子どもたちに良い影響を与える素敵な言葉を積極的につかっていきたいものです。

ことば　谷口　和彦

ひとことで
勇気がでてくる
ことばがある
ひとことで
優しさがわいてくる
ことばがある
ほんとうのことが
みえてくることばです
ひとことで
傷つくことばがある
明日がみえぬことばです
ことばはこころは
一つです

また、私は日々子どもたちや教職員に言葉をかけた後、自分の思いをプラスして伝えるように心掛けています。例えば「〇〇さんの挨拶は素晴らしいね。すごく気持ちがいいよ。」「〇〇先生いつもありがとうございます。おかげでとても助かりました。」 というように自分の思いをプラスして伝えることで、相手が自己存在感や自己有用感、そして生きる喜びを実感できるのではないか、さらに互いの人間関係もより豊かになるのではないかと考え、実行しています。ぜひ、保護者の皆様もお子さんに心に響く素敵な言葉をかけるとともに、自分の思いを伝えてみてください。

＜参考＞　担任時代に子どもたちから聞き取った「親に言われてうれしかった言葉」の一部を紹介します。

ありがとう。　大好きだよ。　うれしかったよ。　笑顔が素敵だよ。　輝いているね。
あなたの味方だよ。　あなたのおかげだよ。　あなたならできる。　いつも助かるよ。
守ってあげるからね。　あなたは家族の宝物だよ。　あなたは自慢の子だよ。
あなたがいるからいつも頑張れるよ。　産まれてきてくれてありがとう。　など



※現在、市内小・中学校において、新型コロナウイルスの感染者が急増しています。引き続き、学校では、感染防止対策を講じながら教育活動を推進してまいります。ご家庭においても、お子さんの健康管理にご留意いただきますようよろしくお願いいたします。